

新型コロナウイルス スパイクタンパク抗体検査のご案内 (ロシュ社製 Elecsys®Anti-SARS-CoV-2 S RUO)

(2021年6月1日版)

■ この度、コロナワクチン接種後に免疫を獲得しているかどうかを評価する検査（新型コロナウイルス スパイクタンパク抗体検査）を開始いたしましたのでご案内です。

従来のヌクレオカプシド（N）に対する抗体検査は、新型コロナウイルスの自然感染後の抗体獲得については有用であるものの、ワクチン接種後の抗体獲得の判定には不適でした。

新たな抗体検査は、コロナの自然感染による免疫獲得について知るだけでなく、ワクチン接種後に免疫がついたかどうかにも判定することが可能になりました。

■ 「スパイクタンパク」と「mRNAワクチン」について

現在、国内で接種が進んでいるファイザー社とモデルナ社の「mRNAワクチン」ですが、この「mRNAワクチン」は、ウイルスの表面に存在し感染の成立に重要な役割を果たすスパイクタンパク質（S）に対する抗体を誘導することで、新型コロナウイルス感染症の発症予防効果を発揮すると言われています。

つまりスパイクタンパク質に対する抗体が検出されるということは、コロナに既にかかったことがある、又はワクチン接種後に免疫を獲得したという意味になります。

■ 検査はこんな方に向いています

○コロナワクチンを接種したが、本当に効いているのか気になる方

- 以前、風邪症状があったので、それが新型コロナウイルス感染だったか知りたい方
- 元気に過ごしていたが、新型コロナウイルスに感染しても無症状のこともあると知り、心配な方
- 過去に新型コロナに感染したかどうか不明で、ワクチンを接種すべきかどうか迷っている方（WHO等では過去に新型コロナにかかっている方もワクチン接種が推奨されています。）

等々…

■ 検査に適する時

- ①ワクチンの効果を知りたい方→2回目の接種を終えて28日以降～
- ②過去の感染が気になる方→症状が出てから2～3週間以降
- ③ワクチン接種前、1回目の接種後

※①のタイミングでの論文報告が多く、このタイミングを第一にお勧めします。

